



## 「かげろう」はどうしてできるの

### はるさき なつ あつ み 春先や夏の暑いときによく見られる

はる はじ のころや、なつ ひざ つよ じめん とお み  
春の初めのころや、夏の日差しの強いとき、地面を遠くから見ると、ほのおがゆらゆら  
ち  
と立ちのぼっているように見えることがあります。これが、かげろうです。地面や鉄道の  
せんろ とお き み  
線路、遠くの木などがゆれているように見えます。

### くうきちゅう とお ひかり ま 空気中を通る光が曲がっておこる

ひざ つよ じめん じめん から あたたかい くうき ち  
日差しが強くなり、地面があたためられてくると、地面からあたたかい空気が立ちのぼ  
ります。そうすると、まわりの冷たい空気と、あたたかい空気とがまじり合っ、空気の  
つめ くうき あ くうき  
こいところとうすいところができるのです。

このため、光が曲がって、ほのおがゆらゆら立ちのぼっているように見えます。この空  
き とお とお き せんろ み ひかり ま  
気を通して、遠くの木や線路を見ると、光が曲げられているので、まるでゆれているよう  
み  
に見えるのです。（監修 村山貢司）

